

2022年1月19日

株式会社MBSメディアホールディングス

社長記者会見をオンラインで開催しました

本日、当社完全子会社の毎日放送は社長記者会見をオンラインで開催し、同社代表取締役社長の虫明洋一とともに、当社代表取締役社長の梅本史郎が出席しました。記者会見での発言の概要は下記の通りです。

記

【MBSメディアホールディングス 梅本史郎社長】

MBSグループの上期連結決算は3期ぶりに営業黒字になりました。中核社毎日放送の業績回復が主な要因ですが、うれしいのはスタートしたばかりの新生ラジオ社が、計画を大きく上回る利益を出したことです。社員が一体感を持って、大幅な改革に取り組んだ成果だと思います。

認定放送持株会社の体制になって間もなく5年を迎えます。また今年度は去年策定したグループの新しい中期経営計画の初年度です。現在テレビのタイムとスポットの収入は連結売上の7割を超えていますが、これを2025年度に60%台に減らす目標です。今後もグループとして収益を拡大していくため、コンテンツビジネスをさらに拡充するとともに、投資その他のビジネスにも積極的に進出して、放送に並ぶ収入の柱を建てるのが急がれます。

そうした意味で『呪術廻戦』などのアニメや深夜ドラマが、配信や商品化など様々な展開で大きな利益を生み出したのは計画の進捗です。

また昨年末、本社の隣にある梅田ロフトビルの不動産信託受益権を取得しました。これはメディアグループであるMBSが地元の賑わいを創出できれば、資産価値も高まるという決断でもあります。劇場運営の新会社も発足し、新規事業創出のためのグループ会社MBSイノベーションドライブは積極的な投資を続けています。経営計画実現へむけ、様々な土台作りを進めています。放送をリアルタイムでご覧いただくことが減っている現状を踏まえると、時間はあまり残っていないように感じます。激動の時代に、視野を広く、スピード感を持って積極果敢に挑んでいきたいと考えています。

【毎日放送 虫明洋一社長】

私は今年還暦で、「一から始めます」そんな気分で新年を迎えました。それからわずか2週間あまりの間に世の中の雰囲気がからりと変わったことに驚いています。一昨年、去年とコロナ禍に振り回され続け、ようやく少し落ち着いてきたかと思いましたが年明けから急激に感染が拡大し、今年も慌ただしい年になると覚悟を決めました。この記者会見もオンライン開催となり、皆さんと直接お会いできなくなったことを残念に思っています。今年もよろしくお祈りします。

足下の業績に話題を移すと、コンテンツビジネスの躍進、セールス市場の回復と営業の奮闘で、視聴率は最下位ながら上期は想定以上の利益を出すことができました。出せた利益は再投資の源泉となります。ただし、言うまでもなく、視聴率をもっと良ければ、スポット売上はもっと伸び、再投資にもっと回すことができたはずです。私たちの番組をご覧いただくのはもはや地上波だけ

ではありませんが、大切なのは「強いコンテンツをつくって発信する。ひとりでも多くの人に楽しんでもらう」ことです。そして食欲に稼ぎ、次なる強いコンテンツをつくるべく再投資する。そうしたスパイラルをつくっていくことが大切だと思っています。

強いコンテンツのうれしい一例を紹介しておきます。「呪術廻戦」が起こしているムーブメント。年末のネット特番、一挙放送の効果もあってか、「劇場版 呪術廻戦 0」は公開からきのうまでで 639 万人を動員、興行収入は 87 億円を超え、今月中にも 100 億円を突破するかという快進撃が続いています。コンテンツビジネスの新たな成功例として大切にしていきたいと思えます。

そして開局 70 周年。今週土曜日に MBS 開局 70 周年特番「関西 MBS 万博」を放送することはすでにお伝えしたとおりです。ほかにも周年特番としてこれまでになかった取組みにもチャレンジしていきます。

さらに、今年はドキュメンタリー作品の映画化にも取り組みます。2017 年の映像シリーズで地上波放送し、ギャラクシー賞大賞を受賞した「教育と愛国」に追加取材も加え映画化するものです。MBS のドキュメンタリー映画としては東日本大震災テーマに制作し 2012 年に公開した「生き抜く」以来です。

アニメもドキュメンタリーも、長い間取り組んできたものが実を結んでいるものです。今こそ種を蒔かないと、永遠に果実は実りません。会社全体の制作力の強化は喫緊のテーマですから、無駄をカットして有益な投資に充てて、何があっても貫き通します。この春に向け、視聴率の向上を強く意識しながら、タイムテーブルのメリハリを一層明確にしていきます。どこのゾーンを作るのか、つまり経営資源を重点的に投下するのか。それらを明確にして突き進んでいく 1 年です。今年もよろしくお願ひします。

【当社に関する質疑応答】

Q：グループ全体、各社の業績について。

A：連結対象のグループ会社が 10 社に増えました。上半期の業績で毎日放送と MBS ラジオはご説明したとおり増収増益で、CS 放送の GAORA は増収減益でしたが、配信などにも積極的に取り組んでいるほか、北海道日本ハムファイターズの新庄剛志監督就任など明るい話題もあり期待しています。このほか番組制作を担うプロダクションは新型コロナの影響などを受けているところもあり、楽観できる状況ではありませんが、グループ全体では通期でも増収増益となる見通しです。

Q：ホールディングス化して間もなく 5 年、新しい事業への取り組み状況は。

A：2021 年度から 23 年度のグループの中期経営計画では、「放送ビジネス」、「コンテンツビジネス」、「投資事業その他のビジネス」という 3 つのビジネスの推進を目標に掲げています。

基幹事業である既存の放送事業を強化しながら、コンテンツビジネスと投資その他ビジネスを拡大させ、多様な収入を獲得することにより、グループ全体の収入を増やす取り組みです。グループ全体の収入を増やすことで、結果として放送収入への依存度を下げることを目指しています。

以上

問い合わせ先：広報部